



2021年3月期

# 第2四半期決算説明会

2020年11月24日

株式会社ジャムコ



# 技術のジャムコは、 士魂の気概をもって

- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めています。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

● この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度に関するさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績はこれらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。

● この資料における数値について、記載金額は、表示桁未満を切捨てしており、増減率(%)は、表示桁未満を四捨五入して作成、表示しております。

● 本資料を(株)ジャムコの許可無く転載・複写することを禁じます。又、本資料を使用することにより生じたいかなる損害について(株)ジャムコは一切責任を負いません。



## Contents

### SECTION

# 1

## 2021年3月期 第2四半期決算の状況

- 04 | グループ連結P/L
- 05 | 連結経常利益の前年同期比差異要因
- 06 | セグメント別 売上高・経常利益-①(前年同期比)
- 07 | セグメント別 売上高・経常利益-②(前年同期比)
- 08 | グループ連結B/S
- 09 | グループ連結 試験研究費/設備投資額/減価償却費
- 10 | グループ各社の状況 (2021年3月期/上期)
- 11 | 通期見通し

### SECTION

# 2

## 重要項目と課題進捗、 コロナ禍における当社の対応

- 13 | 経営環境と市場動向
- 14 | コロナ禍における当社の対応
- 19 | 中期ビジョン
- 20 | 中期の課題と対応
- 24 | ESGの取組み

# 2021年3月期 第2四半期決算の状況

## SECTION

# 1

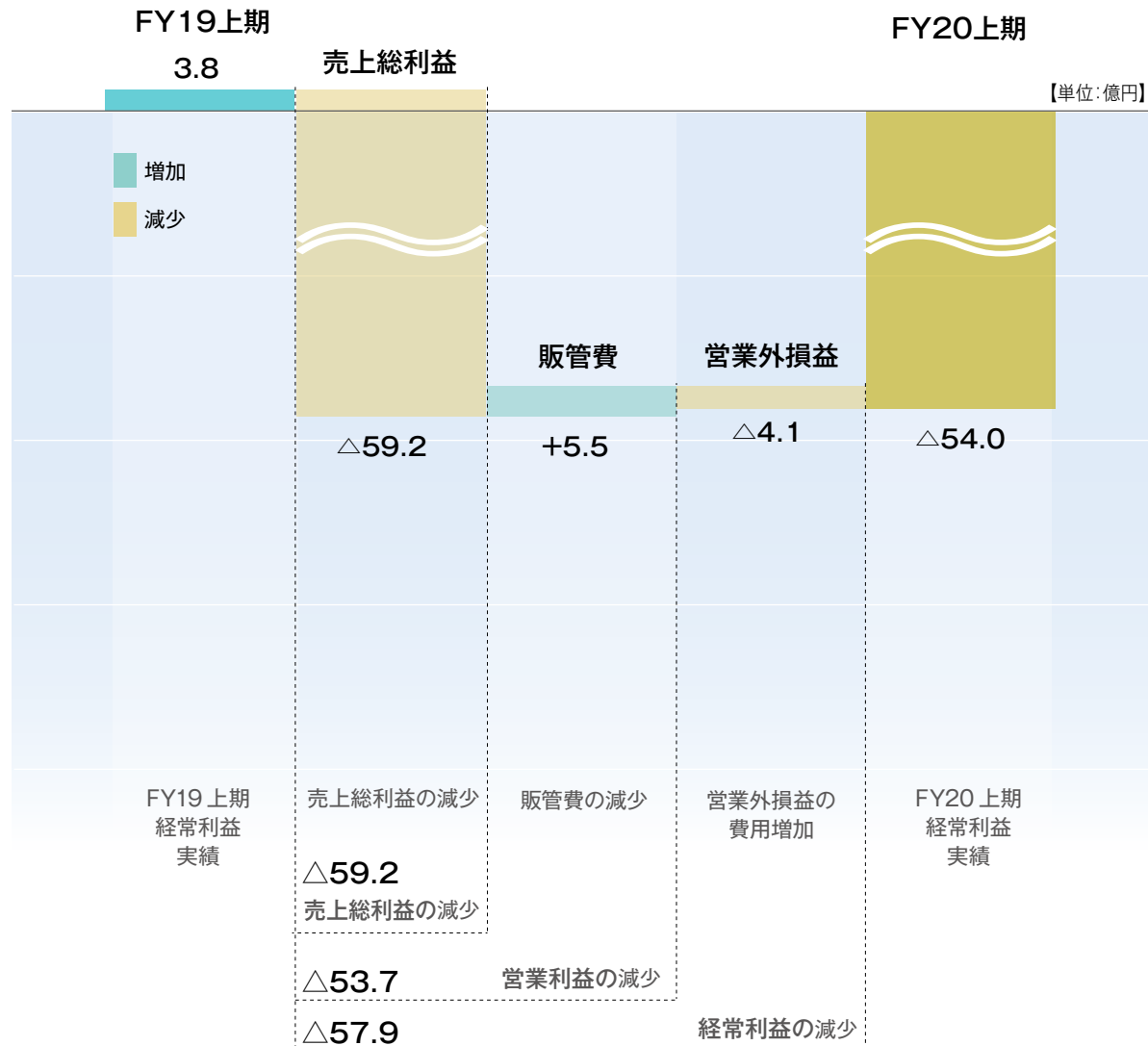
- 04 | グループ連結P/L
- 05 | 連結経常利益の前年同期比差異要因
- 06 | セグメント別 売上高・経常利益-①(前年同期比)
- 07 | セグメント別 売上高・経常利益-②(前年同期比)
- 08 | グループ連結B/S
- 09 | グループ連結 試験研究費/設備投資額/減価償却費
- 10 | グループ各社の状況 (2021年3月期/上期)
- 11 | 通期見通し

【単位:百万円】

	FY19上期 (実績)	FY20上期 (実績)	前年同期比 (増減)
売上高	40,554	25,860	△ 14,694
売上総利益	4,663	△ 1,264	△ 5,927
販管費	3,878	3,326	△ 551
営業利益	784	△ 4,591	△ 5,375
営業外損益	△ 400	△ 818	△ 417
経常利益	384	△ 5,409	△ 5,793
税金等調整前 当期純利益	127	△ 6,050	△ 6,178
親会社株主に帰属する 四半期純利益	73	△ 4,294	△ 4,367
1株当たり四半期純利益 (円)	2.73	△ 160.10	—
売上為替レート (円/USドル)	109.68	107.52	—

# 連結経常利益の前年同期比差異要因

## ■ 前年同期比 △57.9億円



## Point

## ■ 売上総利益

- 感染症拡大による航空需要の急激な落ち込みにより、航空機メーカーによる減産や生産スケジュール変更などから売上高が減少

## ■ 販管費

- 保証工事費の減少 + 1.2億円
- 試験研究費の減少 + 1.2億円
- 人件費の減少 + 1.2億円
- 販売手数料の減少 + 0.7億円
- その他 + 1.2億円

## ■ 営業外損益

- 為替差損益の悪化 △ 2.7億円
- 支払補償費の増加 △ 1.5億円
- その他 + 0.1億円

## セグメント別 売上高・経常利益-①(前年同期比)

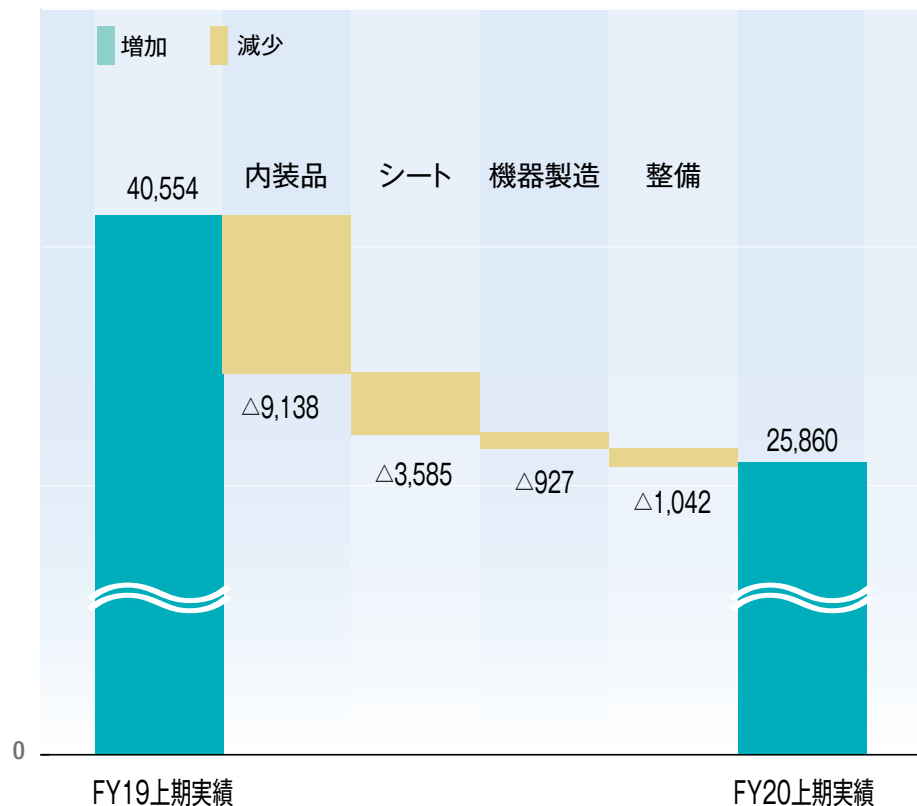
【単位:百万円】

	売上高			経常利益		
	FY19上期 (実績)	FY20上期 (実績)	前年同期比 (増減)	FY19上期 (実績)	FY20上期 (実績)	前年同期比 (増減)
航空機内装品	27,066	17,928	△ 9,138	955	△ 3,455	△ 4,410
航空機シート	7,238	3,652	△ 3,585	△ 728	△ 1,791	△ 1,063
航空機器製造	2,658	1,731	△ 927	△ 124	△ 102	22
航空機整備	3,590	2,547	△ 1,042	283	△ 60	△ 344
その他	0	0	0	△ 1	0	2
合計	40,554	25,860	△ 14,694	384	△ 5,409	△ 5,793

(注)「その他」はオレンジジャムコの事業を含んでおります。

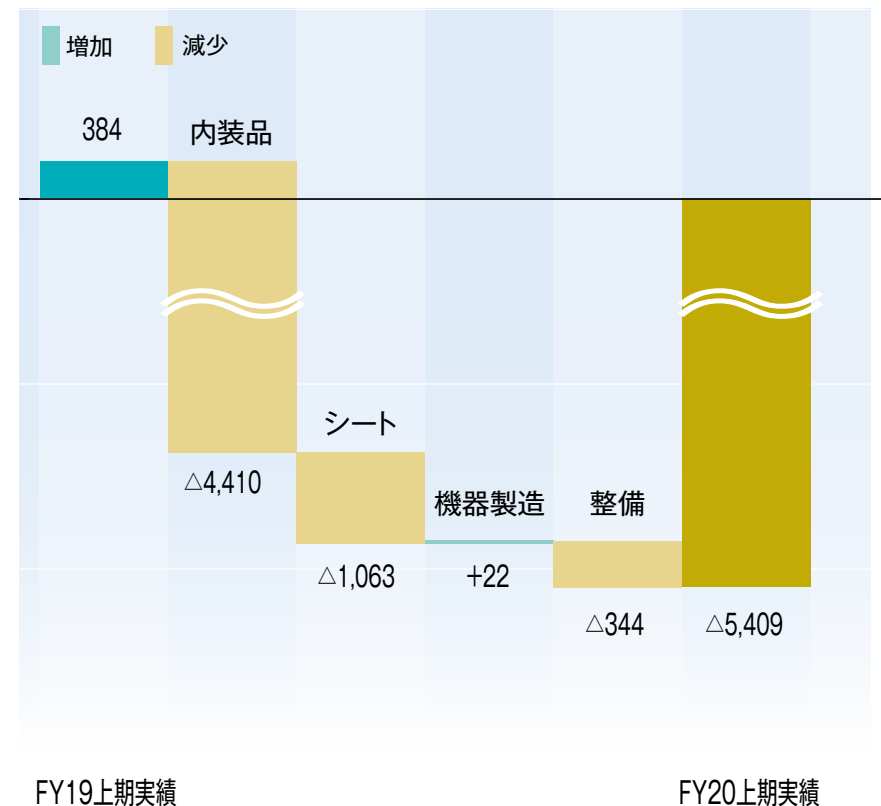
## 売上高

【単位:百万円】



## 経常利益

【単位:百万円】



## Point

- 内装品は感染症拡大による影響で航空機メーカーの減産により、ギャレー及びラバトリーの出荷が減少  
又、航空機の運航が減少したことから、エアライン向けの改修用キットやスペアパーツが減少
- シートは感染症拡大による影響で顧客による納期変更や一部キャンセルなどにより減少
- 機器製造は防衛関連の熱交換器等装備品の出荷は堅調  
民間航空機向けの炭素繊維構造部材や航空機エンジン部品は感染症拡大による影響で減少
- 整備は機体整備において前年同四半期における一部プログラムの出荷反動により減少  
又、装備品整備においては感染症拡大による影響でエアラインからのホイール、ブレーキの受注減少

## Point

- 内装品は売上高減少により悪化
- シートは売上高減少や特注品の工事損失引当金増加により悪化
- 機器製造は売上高減少したものの採算性の良い製品の出荷増加により改善
- 整備は売上高減少により悪化

【単位:百万円】

科目	FY19末 2020年3月31日	FY20 2Q末 2020年9月30日	増減
〈資産の部〉			
<b>流動資産</b>			
現金及び預金	8,690	7,139	△ 1,551
受取手形及び売掛金	31,898	21,853	△ 10,045
棚卸資産	52,251	56,618	4,366
その他流動資産	4,890	3,839	△ 1,051
<b>流動資産合計</b>	<b>97,732</b>	<b>89,451</b>	<b>△ 8,281</b>
<b>固定資産</b>			
有形固定資産	13,766	13,208	△ 557
無形固定資産	1,999	1,891	△ 107
投資その他の資産	6,686	8,380	1,693
<b>固定資産合計</b>	<b>22,451</b>	<b>23,480</b>	<b>1,028</b>
<b>資産合計</b>	<b>120,184</b>	<b>112,931</b>	<b>△ 7,253</b>

科目	FY19末 2020年3月31日	FY20 2Q末 2020年9月30日	増減
〈負債の部〉			
<b>流動負債</b>			
支払手形及び買掛金	11,394	6,837	△ 4,557
電子記録債務	9,551	6,835	△ 2,715
短期借入金	36,386	43,987	7,600
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,700	500
前受金	8,644	7,033	△ 1,611
工事損失引当金	3,607	4,728	1,120
その他流動負債	6,164	4,121	△ 2,042
<b>流動負債合計</b>	<b>76,949</b>	<b>75,243</b>	<b>△ 1,706</b>
<b>固定負債</b>			
長期借入金	3,500	3,000	△ 500
その他固定負債	9,361	9,254	△ 106
<b>固定負債合計</b>	<b>12,861</b>	<b>12,254</b>	<b>△ 606</b>
<b>負債合計</b>	<b>89,811</b>	<b>87,497</b>	<b>△ 2,313</b>
〈純資産の部〉			
<b>純資産合計</b>	<b>30,373</b>	<b>25,433</b>	<b>△ 4,939</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>120,184</b>	<b>112,931</b>	<b>△ 7,253</b>

## Point

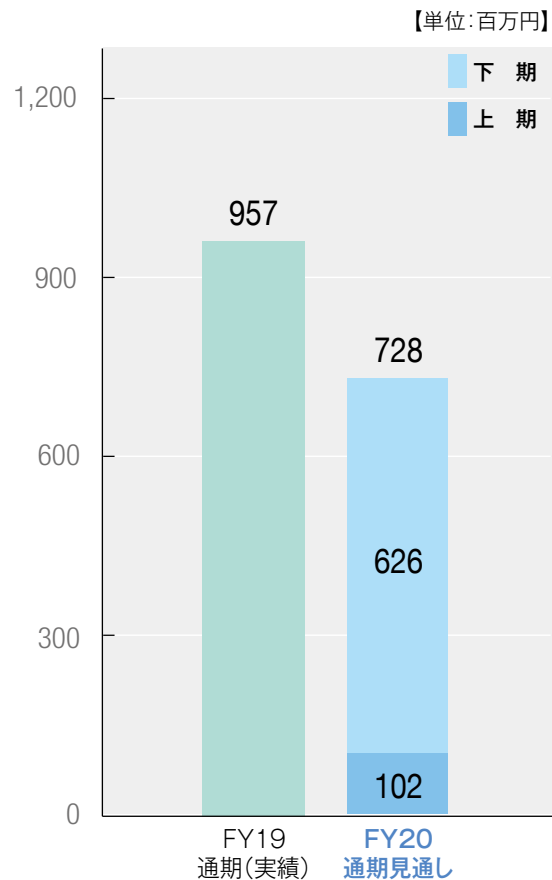
- 棚卸資産は売上高の急減と発注済み部品・材料の仕入れがあり増加
- 受取手形及び売掛金は売上高の急減と売掛金の回収により減少

- 純資産、支払手形及び買掛金、電子記録債務が減少し借入金が増加
- 自己資本比率 24.8% → 22.1%



# グループ連結 試験研究費/設備投資額/減価償却費

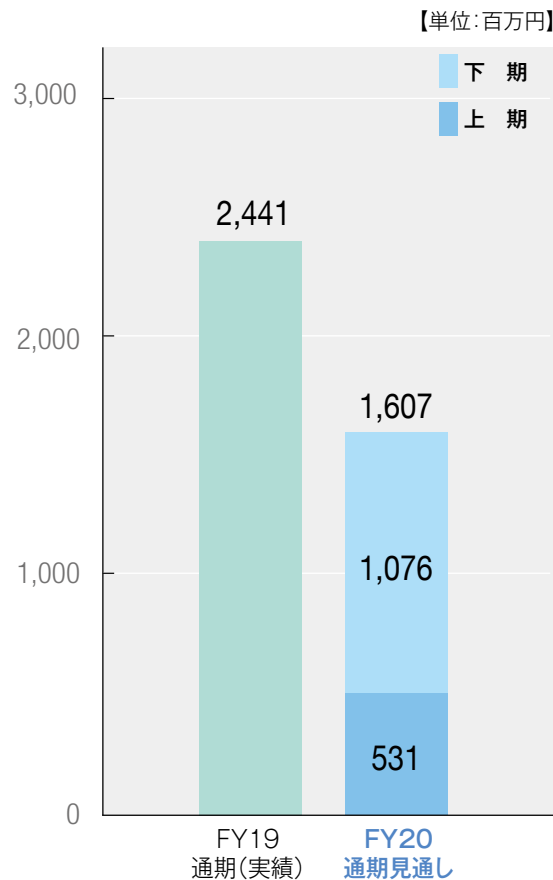
試験研究費(連結)



Point

- FY20通期見通し  
次期プレミアム・シート、内装品軽量化材料の開発、ADP各種試験

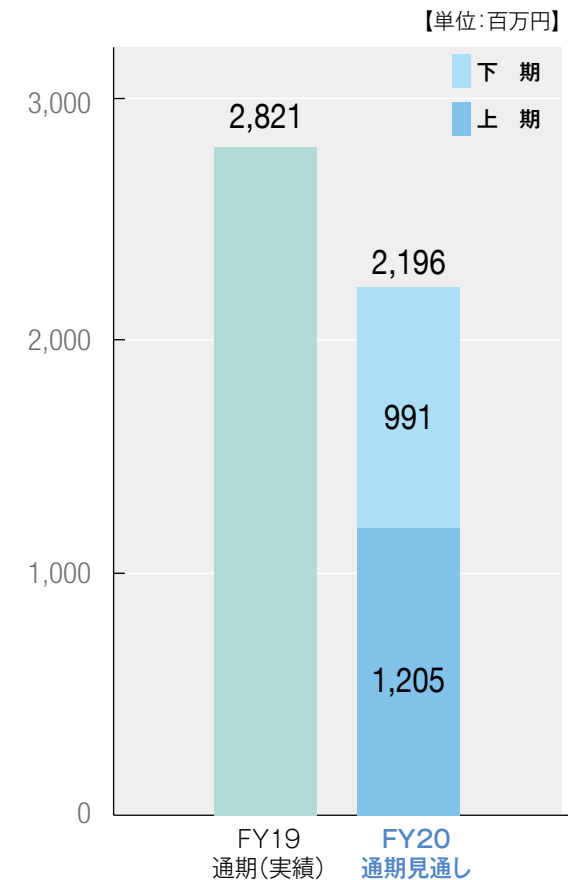
設備投資額(連結)



Point

- FY20通期見通し  
大型投資案件は凍結し生産性向上に寄与する自動化、ソフトウェアなどのIT関連

減価償却費(連結)



## グループ各社の状況 (2021年3月期/上期)

【単位:百万円】

	当社	新潟 ジャムコ	宮崎 ジャムコ	中条 ジャムコ	ジャムコ アメリカ	ジャムコ エアロデザイン エンジニアリング	ジャムコ シンガポール	ジャムコ フィリピン	ジャムコ エアロ マニュファク チャリング	徳島 ジャムコ	ジャムコ エアロテック	オレンジ ジャムコ
売上高	24,131	1,516	484	263	5,101	196	398	336	323	367	182	54
営業利益	△ 4,157	71	△ 35	48	△ 532	△ 27	△ 11	57	△ 8	21	19	1
経常利益	△ 4,745	74	△ 33	47	△ 586	△ 19	△ 36	53	△ 8	21	19	1
当期純利益	△ 3,413	△ 105	△ 51	△ 78	△ 578	12	45	29	△ 28	13	9	0

(注1)ジャムコアメリカは、エアライン向けの客室改修事業やスペアパーツ販売などが大きく減少

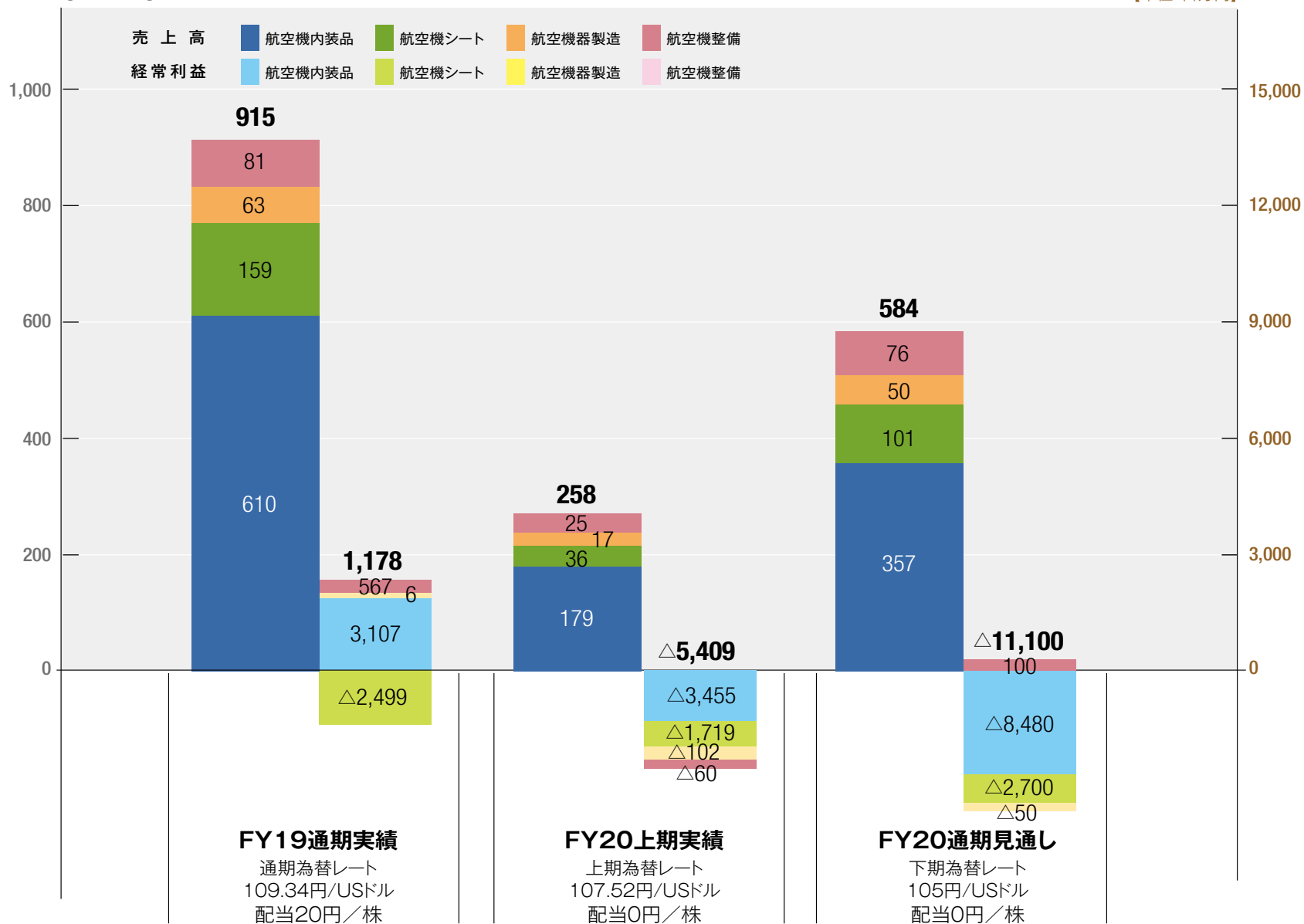
(注2)ジャムコシンガポールは、今後の安定的な生産の見通しが立たないことから、会社を清算することを決定(解散日は2021年1月31日予定)

## 通期見通し



【単位:億円】

【単位:百万円】



### 2021年3月期 配当予想(無配)

当社は株主配当に係る基本方針として、効率的経営に努め収益向上を図ることで、株主の皆様には安定、且つ継続的に還元することを旨とし、又、当面の間、連結配当性向20～30%を目安に配当額を決定するものとしておりますが、感染症拡大の影響に伴い、当社グループの業績は大きく悪化しており、誠に遺憾ながら当期の配当は無配とさせていただきます。

株主の皆様には、深くお詫び申し上げますと共に、可能な限り早期に復配できるよう努めて参りますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 重要項目と課題進捗、 コロナ禍における当社の対応

## SECTION

# 2

- 13 | 経営環境と市場動向
- 14 | コロナ禍における当社の対応
- 19 | 中期ビジョン
- 20 | 中期の課題と対応
- 21 | 中期課題の進捗
- 24 | ESGの取組み

- 世界的な新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）拡大の影響により企業活動が大きく制限されることになり各国経済に深刻な影響を及ぼした。その後、先進国を中心に医療や検査体制を拡充し対応しているものの、世界的に人の移動については低迷しており、依然として経済回復には厳しい状況が続いている。
- 航空輸送業界では、感染症の世界的拡大の影響でかつてない規模の減便や運休などにより経営環境は大きく悪化しており、各エアラインは大幅な人員削減を余儀なくされている。又、航空機メーカーにおいても、航空需要の急激な落ち込みにより、ボーイング、エアバス共に大幅な減産が実施される状況になった。
- このようななかで当社グループでは、当面は厳しい経営環境が続くと想定し、将来の航空需要回復に備え全社レベルで業務プロセスの改革、生産体制の効率化を推進し、品質と収益力の向上を目指すと共に、人員削減等による経費削減、投資抑制を図り、拠点整理にも取り組んでいる。又、お客様に安心してご利用いただけるよう、手を触れずに開閉できるラバトリー用ドアハンドル等、感染症対策に向けた製品開発を進めている。

## 当社の対応：緊急対策

緊急対策

中期対策

アフターコロナへの対応

- 拠点整理 (国内外製造拠点の整理・統合)
- 需給調整 (グループ全体で25%程度の一時的な人員削減の実施。)  
(一時帰休、グループ外への出向も含めた対応：雇用とスキルを最大限維持して航空需要回復時に備える。)
- 原価・在庫削減 (委託業務の内製化、発注計画の見直し)
- 経費削減 (前年比△95億円。役員報酬・人件費抑制、部門経費の削減)
- 設備投資凍結 (約23億円の計画見直し)
- 借入枠の増額 (追加230億円)

連結純損失

収益改善・業績回復

## 当社の対応：中期対策

緊急対策

中期対策

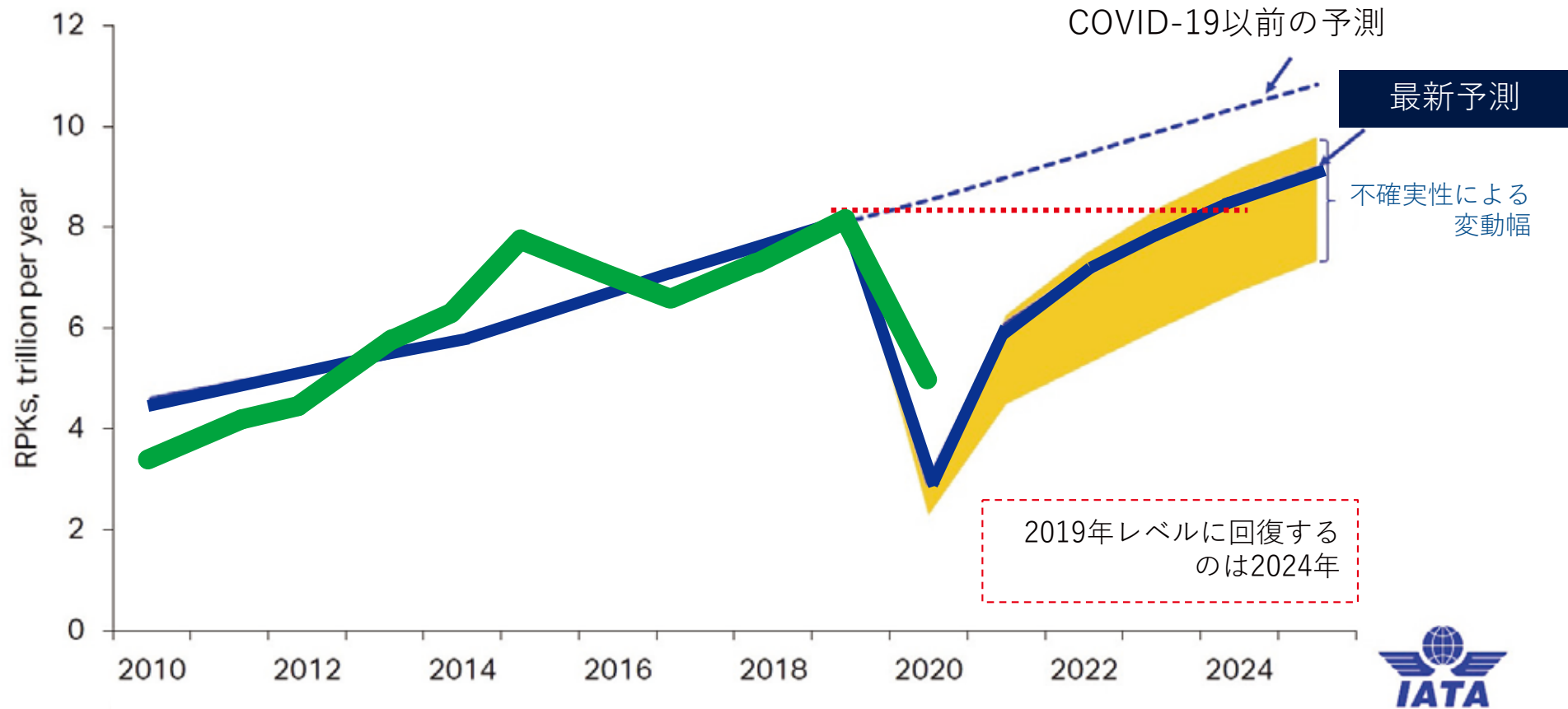
アフターコロナへの対応

- 拠点整理
- 需給調整
- 原価・在庫削減
- 経費削減
- 設備投資凍結
- 借入枠の増額
- 業務プロセス改革 (J-LEAD)
  - ・全社レベルの改革を社長直轄で推進
  - ・品質／生産／経理財務／人財／IT(DX)
- シート事業の収益向上
  - ・プレミアムシート「Venture」の受注拡大
- リースバック機・転売等による  
内装品改修需要の積極的取込み
- 複合材事業の新製品開発
  - ・航空機市場以外への展開追求


連結純損失

収益改善・業績回復

## 航空旅客市場と当社連結売上への推移



出所: IATA/Tourism Economics 'Air Passenger Forecasts' July 2020.

 当社連結売上高の動向  
(2019年度基準)



## アフターコロナへの対応

緊急対策

中期対策

アフターコロナへの対応

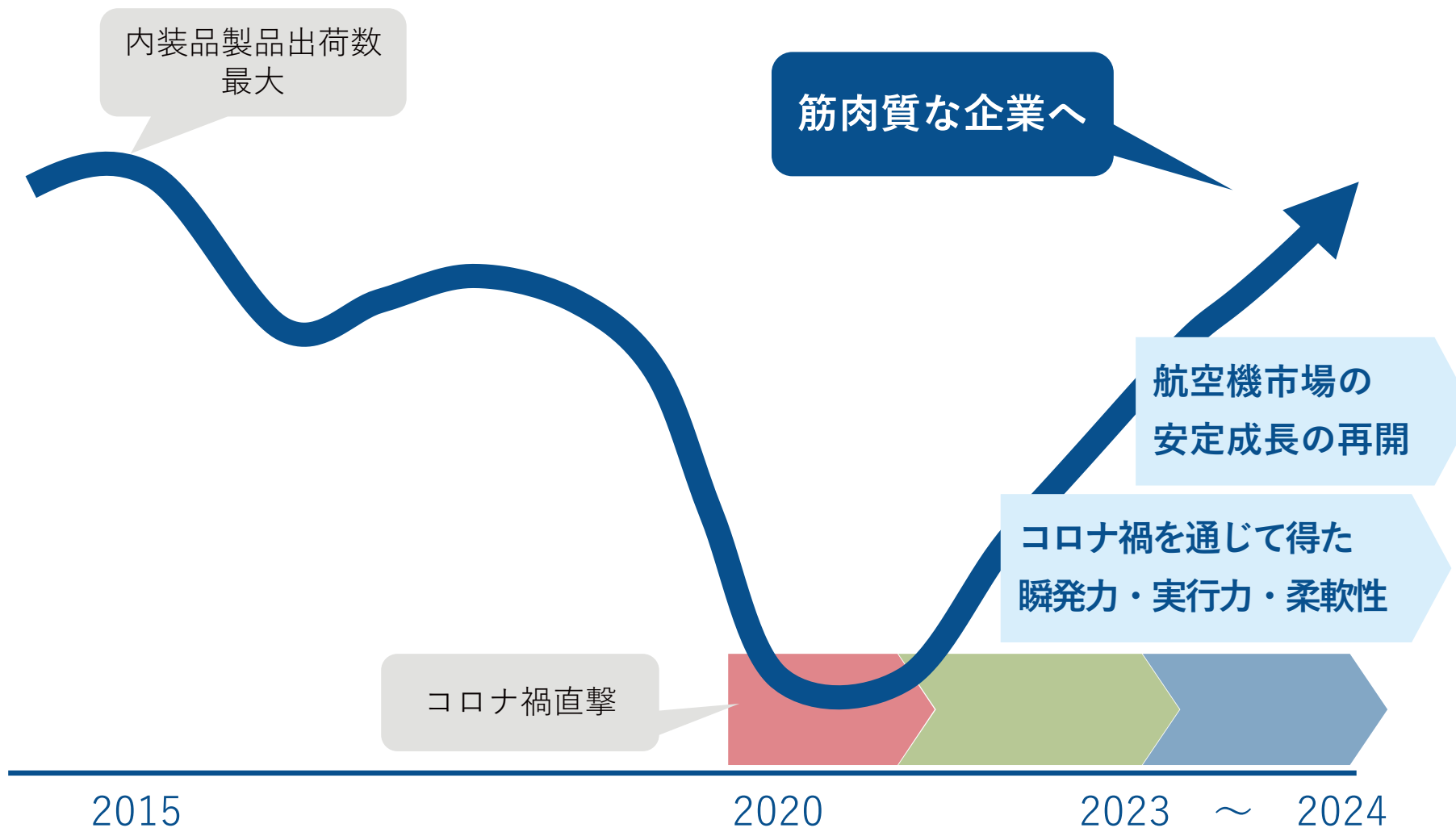
- 拠点整理
- 需給調整
- 原価・在庫削減
- 経費削減
- 設備投資凍結
- 借入枠の増額
- 業務プロセス改革 (J-LEAD)
- シート事業の収益向上
- リースバック機・転売機等による内装品改修需要取込み
- 複合材事業の新製品開発
- 需要回復に備えた生産拠点拡充準備
- 単通路機市場への取組み強化
- ESGへの取組み強化 (航空機の軽量化・電動化)

連結純損失

収益改善・業績回復

収益・業績の拡大

## 収益改善イメージ



## 中期ビジョン

- **航空機分野に特化し、内装品事業を基軸に、機器製造、航空機整備の能力を集約し、航空機内装品のリーディング・カンパニーとなる**

## 中期経営指標

- **収益性指標：連結経常利益率7%以上**
- **効率性指標：連結ROA7%以上**
- **配当方針：連結配当性向20~30%を目安とする**

## 中期の課題と対応

新型コロナウイルス感染症の収束時期が不明な状況であり、当面は厳しい経営環境が続くと想定し、将来の航空需要回復に備え、業務のムリ・ムダ・ムラを排除し、更なる生産体制の効率化を推進いたします。

また、航空需要の低下に伴う減産は、すべての事業に大きな影響を及ぼす見込みであり、全社レベルで品質、生産、財務、人財、IT戦略を含めた業務プロセスの改革を推進し、品質向上と共に収益力の向上をめざしてまいります。

- 航空機内装品**
- ① SMS (安全管理システム) の確実な実行と、QMS (品質管理システム) の見直しによる品質管理体制の強化に取り組み、顧客からの信頼回復を行う。
  - ② グローバルな競争環境の変化への対応に加えて、競争力の強化、為替変動リスク対策として、国内外における生産拠点の戦略的な整理に取り組む。
  - ③ 「技術と品質のジャムコ」として、QCD:品質・コスト・納期の更なる向上、新規設計開発の確実な実行、次期内装品事業の成長の種 (新規分野・新技術・新材料) へ積極的に投資を行い、競争力強化を推進する。
- 航空機シート**
- ① 過去に受注したカスタムメイドシートにおける初期開発・製造原価超過の影響が残るものの、2021年度中には納入を完了予定であり、黒字化と安定的な収益基盤の構築のため、標準型プラットフォームを活用したビジネスクラス・シート (Venture) の販売拡大に取り組む。
  - ② マネジメント力の向上及びグループ・サプライチェーンの連携強化を図り標準型プラットフォームを活用した次期プレミアム・シート供給体制の整備を行う。
  - ③ ビジネスクラス・シート (Venture) の販売拡大に取り組む一方で、標準型プラットフォームを活用した次期プレミアム・シートの開発により、継続的な成長戦略を実行していく。
- 航空機器製造**
- ① 設計製造能力の向上、NADCAP認定を取得している特殊工程技術力の活用により競争力を強化し、技術的付加価値の高い製品の受注を促進すると共に、付加価値と競争力による受注品目の選択と集中を図る。
  - ② ADP事業は新製品の開発および他企業との協業、新規分野への展開を含めてビジネスモデルの再構築に取り組む。
  - ③ 機器製造の技術力を内装品事業・シート事業へ適用しシナジー効果を高める。
- 航空機整備**
- ① 選択と集中により高付加価値を提供するMRO (Maintenance Repair Overhaul) 事業への転換を推進し安定した収益を上げることのできる事業基盤の構築を目指す。
  - ② 整備事業を通じて得た情報を内装品・シート・機器事業へフィードバックすることで、グループ経営におけるシナジー効果を高めることに取り組む。

## 業務プロセスの改革

社長直轄のプロジェクト、J-LEAD:Jamco Lean Enterprise Accelerated Development)として、全社レベルで品質／生産システム／経理財務／人財戦略／IT戦略の5分野の改革に着手。

従来より効率化され、流動性が高く、スピードの速い生産体制、組織体制の構築を目指す。

- JAMCOグループとして業務プロセスを抜本から見直すことで、開発から生産に及ぶプロセス全体の効率化を図る。
- 業務プロセスの効率化については、中長期を見据えた事業戦略を支えるDX(デジタルトランスフォーメーション)戦略を推進する。

## 航空機内装品

### 品質管理体制の強化取り組み

- 安全推進部を新設し、安全意識を醸成
- 製品品質を確実に保証するための検査制度を再構築中

### グローバルな競争環境への対応、国内外における生産拠点の戦略的な整理

- 効率的な生産活動の実現へ向け国内外の生産拠点を再編中
- 単通路機用ギャレーの製造を行っているジャムコシンガポールは解散し、当該ギャレーの製造は国内の生産拠点に統合しコスト削減を図る

## 航空機シート

### 標準型プラットフォームを活用したビジネスクラス・シート(Venture)の販売拡大

- アップグレードオプションの開発を実施、顧客へ向け提案を開始
- 他機種への搭載に向けた開発を実施中

### 標準型プラットフォームを活用した次期プレミアム・シート供給体制の整備

- グループ企業と連携し次期プレミアム・シートの基礎開発が進行中

### 次期プレミアム・シートの開発により、継続的な成長戦略を実行

- 製品認知度向上、販売促進へ向けメディアへの積極的な露出を実施

## 航空機器製造

### 設計製造能力の向上、競争力強化

- エンジン関連部品のエンジンサプライヤーへプレゼンテーションを展開中
- 航空機に加え宇宙向け熱交換器の受注、製造を実施

### ビジネスモデルの再構築

- NEDO研究開発「熱可塑性CFRPを活用した航空機用軽量機体部材の高レート成形技術の開発」に参加
- 大成建設株式会社と共同で、当社独自の炭素繊維構造部材自働成形法「ADvanced Pultrusion (ADP)」で製造する軽量の炭素繊維補強樹脂（以下、CFRP）製梁を用いた、乾式防振床工法「T-Silent CFRP Floor」を開発
- 異業種においても当社技術を活かすべく調査検討を進める

### シナジー効果

- 昨年度より供給を開始した内装品部品はコスト面でのシナジー効果を発揮

## 航空機整備

### 安定収益、事業基盤の構築

- ホイール/ブレーキ整備作業を成田エリアへ集約し、効率的な生産体制構築を図る





## ハンズフリー ドアハンドル



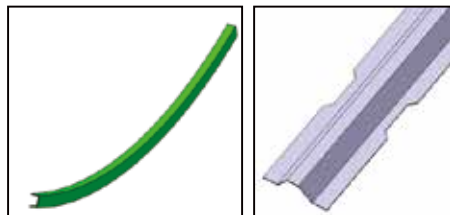
## ハンズフリー ドアロック ノブ



## タブ付き便座・便蓋



### 熱可塑性CFRPを活用した航空機用軽量機体部材の高レート成形技術の開発



ADP製法など独自のCFRP成形技術を活用して、フレーム、ストリンガーなどの部材成形技術を開発。



(出所: JEC composite)

機体メーカーなどが胴体などを一体成形する。

### 次世代軽量カーボンハニカムパネルの研究開発



## 国際定期便航空機を活用した 産学官が連携する大気観測プロジェクト



CME  
(二酸化炭素連続測定装置)



ASE  
(自動大気サンプリング装置)



ASEの搭載前整備



日本オープンイノベーション大賞  
環境大臣賞 受賞

# 2021年3月期 第2四半期決算説明会 添付資料

- 29 | 企業グループ概要
- 30 | 事業概要-①航空機内装品製造事業
- 31 | 事業概要-②航空機シート製造事業
- 32 | 事業概要-③航空機器製造事業
- 33 | 事業概要-④航空機整備事業
- 34 | 事業概要-⑤国内関連会社
- 35 | 事業概要-⑥海外関連会社
- 36 | 航空機メーカーの受注残
- 37 | 新型旅客機の開発・生産状況
- 38 | ボーイング・エアバスの受注・納入状況
- 39 | ボーイングの受注・納入状況(2020年1月～9月累計)
- 40 | エアバスの受注・納入状況(2020年1月～9月累計)
- 41 | 製品・サービスの紹介
- 42 | 「主要な経営指標等の推移」(単独&連結)

# 企業グループ概要



## 航空機内装品製造事業

### 航空機用ラバトリー(化粧室)の製造

- ボーイング747-8・767・777・777X・787向けラバトリーを独占供給



### 航空機用ギャレー(厨房設備)の製造

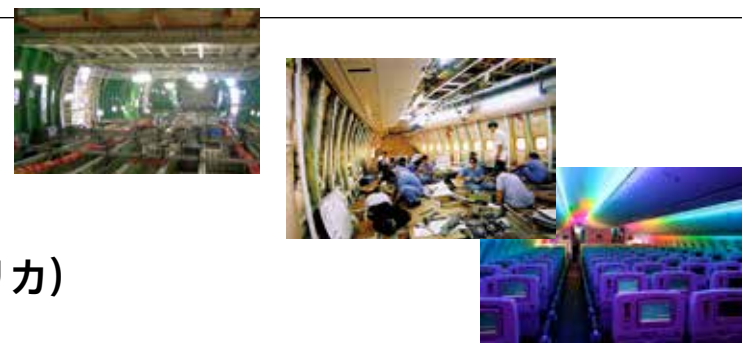
- ボーイング747-8・767・777・777X・787・737に搭載
- エアバスA380・A330・A340・A320に搭載
- 世界の航空会社約100社へ納入
- 787向けギャレーを独占供給
- ギャレーとラバトリーが一体となったA350向けICE (Increased Cabin Efficiency) リヤギャレーを供給



A350ICEリヤギャレー  
(写真提供:エアバス社)

### 航空機改修事業

- 客室内装備品の新規搭載、配置換え、設計、プロジェクトの管理、取付用部品の製造と認証取得
- アメリカ連邦航空局 (FAA) よりODA認定を取得 (ジャムコアメリカ)  
FAAに代わって航空機客室改造の追加型式証明の発行が可能
- 欧州航空安全庁 (EASA) より設計認証 (DOA) を取得 (ジャムコエアロデザイン&エンジニアリング)



## 航空機シート製造事業

### 航空機用シートの製造

- **ボーイング787向けプレミアムクラスシート**  
ビジネスクラスシート (商品名Venture)  
KLMオランダ航空、エア・ヨーロッパ航空、ZIP AIR 他



シンガポール航空提供



Quest for Elegance

- **エアバス向けA350 ACS (Airbus Contracted Supplier) シート**  
ビジネスクラスシート (商品名Journey™)



- **シンガポール航空向けファースト、ビジネスクラスシート**  
ボーイング777-300ER用ファースト、ビジネスクラスシート  
エアバスA350用/A380用ビジネスクラスシート

- **ANA社向けファーストクラスシート**  
ボーイング777用ファーストクラスシート  
エアバスA380用ファーストクラスシート



Venture



CMF designed by mormedi

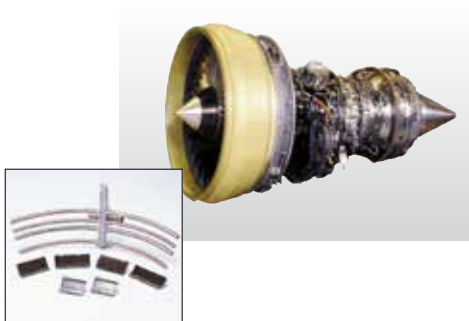
- **JAL社向けファーストクラスシート**  
ボーイング787用ファーストクラスシート  
エアバスA350用ファーストクラスシート



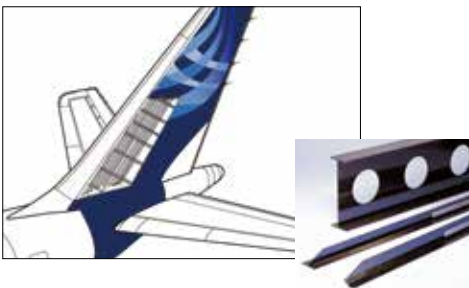
## 航空機器製造事業



**航空機用熱交換器及び  
各種航空機搭載機器の製造**



**ジェットエンジン部品の製造**



**航空機用炭素繊維構造部材の製造**

- エアバスA380用2階床構造部材 (ADP)
- エアバスA350を除くエアバス機の垂直尾翼構造部材 (ADP)
- エアバスA350貨物室床下構造材



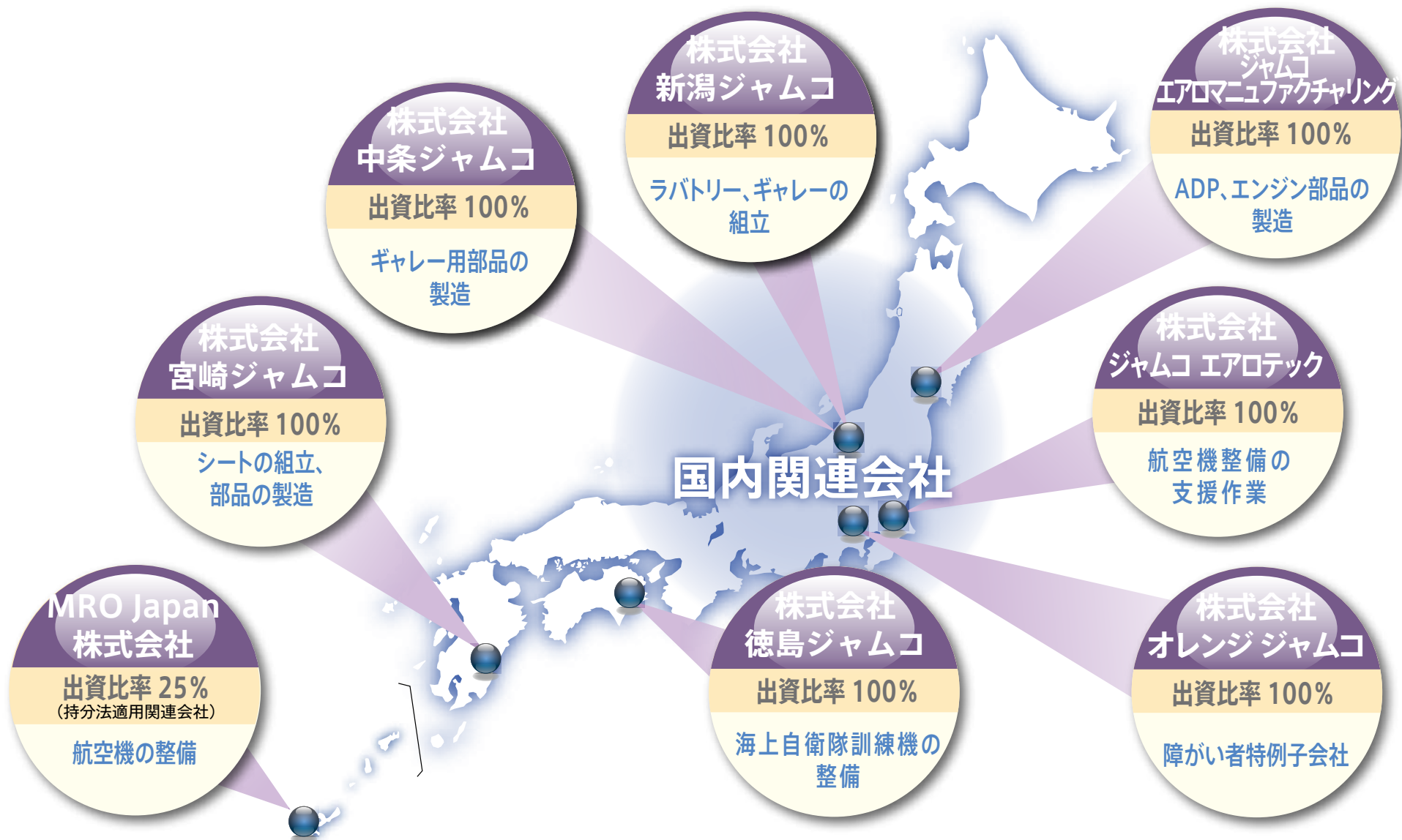
## 航空機整備事業



### 防衛省、海上保安庁、航空大学校、 エアラインなどの航空機、 装備品整備事業



- 中型・小型航空機及びヘリコプターの整備・改造
- リージョナル機の整備
- プロペラ、脚、航空電子機器の整備
- 車輪、ブレーキ、救難用ホイス（吊り上げ装置）のオーバーホール
- 大型旅客機客室内装備品の整備
- 緊急脱出スライドの整備
- 航空機用高圧ガスボトルの整備



(注)出資比率はグループ出資比率



(注)出資比率はグループ出資比率

## ボーイング社の受注残機数

狭胴機

**3,403 機** (前年同期 4,592機)

広胴機

**922 機** (前年同期 1,114機)

## エアバス社の受注残機数

狭胴機

**6,564 機** (前年同期 6,203機)

広胴機

**877 機** (前年同期 930機)

(注)2020年9月末時点

出所：ボーイング社 HP、エアバス社 HP

## ■ 787の生産状況

- 2020年9月末日現在、988機の引き渡しを完了
- 2020年9月末日現在、受注残機数は475機
- 生産レートは現在の月産10機から2021年には6機までに引き下げ

## ■ 777Xの開発状況

- 2022年に初号機就航予定
- 2020年9月末日現在、受注残機数は309機
- 生産レートは現在の月産5機から2021年に777と合わせて月産2機に引き下げ

## ■ 737シリーズの生産状況

- 2020年9月末日現在、10,434機の引き渡しを完了
- 2020年9月末日現在、受注残機数は3,403機
- 2022年初頭までに月産31機を生産逡増

## ■ A380の生産状況

- 2020年9月末日現在、242機の引き渡しを完了
- 2020年9月末日現在、受注残機数は9機
- 2021年生産中止

## ■ A350XWBの生産状況

- 2020年9月末日現在、379機の引き渡しを完了
- 2020年9月末日現在、受注残機数は551機
- 生産レートは現在の月産6機から月産5機に引き下げ

## ■ A330neoの生産状況

- 2020年9月末日現在、49機の引き渡しを完了
- 2020年9月末日現在、受注残機数は317機

## ■ A320ファミリーneoの生産状況

- 2020年9月末日現在、1,458機の引き渡しを完了
- 2020年9月末日現在、受注残機数は6,048機

出所：ボーイング社 HP、エアバス社 HP 等

# ボーイング・エアバスの受注・納入状況

(2020年1月～9月累計)

## 納入状況

●エアバス社

**77.7%**  
(341機)

●ボーイング社

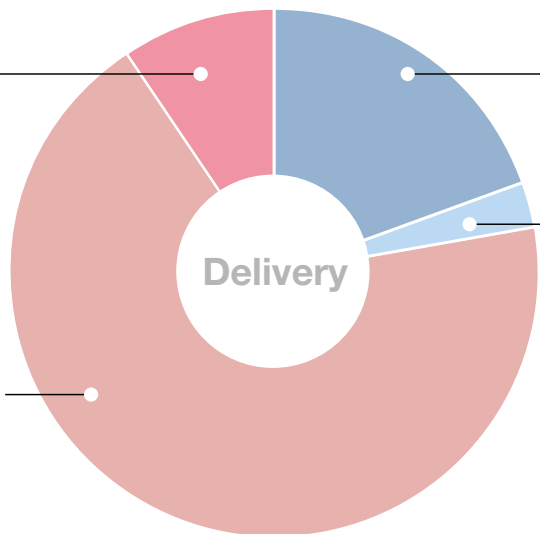
**22.3%**  
(98機)

広胴機  
**9.3%**  
(41機)

広胴機  
**19.6%**  
(86機)

狭胴機  
**2.7%**  
(12機)

狭胴機  
**68.3%**  
(300機)



## 受注残状況

●エアバス社

**63.2%**  
(7,441機)

●ボーイング社

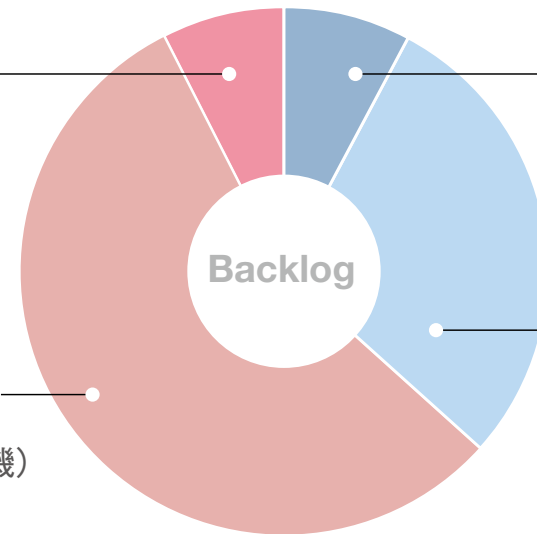
**36.8%**  
(4,325機)

広胴機  
**7.5%**  
(877機)

広胴機  
**9.0%**  
(922機)

狭胴機  
**37.0%**  
(3,403機)

狭胴機  
**46.5%**  
(6,564機)



出所：ボーイング社 HP、エアバス社 HP

## ボーイングの受注・納入状況

(2020年1月～9月累計)

	受 注	納 入	受 注 残
ボーイング合計	△ 983	98	4,325
<b>747</b>	△ 4	2	11
<b>777X</b>	0	0	309
<b>777</b>	△ 9	15	44
<b>787</b>	4	49	475
<b>767</b>	9	20	83
<b>737</b>	△ 983	12	3,403

(注1) ■色の機種は広胴機(ワイドボディー機)を示す。

(注2)受注は正味受注機数を示す。

出所：ボーイング社 HP

## エアバスの受注・納入状況

(2020年1月～9月累計)

	受 注	納 入	受 注 残
エアバス合計	300	341	7,441
<b>A380</b>	0	0	9
<b>A350</b>	4	32	551
<b>A330/A340</b>	△ 5	9	317
<b>A320ファミリー</b>	262	282	6,048
<b>A220ファミリー</b>	39	18	516

(注1) ■色の機種は広胴機(ワイドボディー機)を示す。

(注2) 受注は正味受注機数を示す。

出所：エアバス社 HP



# 製品・サービスの紹介



## AIRCRAFT INTERIORS

### 内装品



(写真提供:エアバス社)  
A350ICEリヤギャラー



ギャラー



フライトデッキ内装



ラバトリー



バーユニット

スティームオープン

## AIRCRAFT SEAT

### シート



Quest for Elegance



CMF designed by mormedi  
Venture



Venture

## AIRCRAFT COMPONENTS

### 機器製造



ヒートエクステンジャー  
(チューブタイプ)

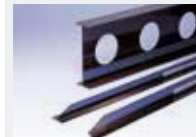


エンジン部品



ブリクローラー

A380床構造部材  
(写真提供:エアバス社)



ADP



電子機器搭載用シャーシ

## AIRCRAFT MAINTENANCE

### 整備



中・小型機の整備、改造



各種装備品の整備

## Jamco News

### 経済産業省認定 2020年版グローバルニッチトップ企業100選に認定されました



2020年度版「グローバルニッチトップ企業100選」に認定されました。

選定は、公募された249社から外部の選定委員による審査を経て2020年度版100選として113社が選定され、当社は機械・加工部門61社のうちのひとつに選ばれました。

当社は中大型旅客機のギャラー、ラバトリーなどの内装品で世界のおよそ50%のシェアを獲得。

製品に要求される質感、機能はもとより、内装品の構造部材に使

用する高強度な軽量ハニカムパネルを独自に開発、燃えにくく煙も少ない素材・樹脂により「難燃性」を高め、ハニカムパネルを用いた構造設計により「軽量化」を実現することで、世界の航空機内装品分野をリードし続けている技術力とビジネスモデルを評価されたものです。

グローバルニッチトップ企業に選定されたことを契機に、ジャムコグループの総力を結集し、グローバル企業としてさらなる企業価値向上に努めてまいります。

#### グローバルニッチトップ企業とは

経済産業省は、世界市場のニッチ分野で勝ち抜いている企業や、国際情勢の変化の中でサプライチェーン上の重要性を増している部素材などの事業を有する優良な企業などを選定。

日本には、マーケティングや技術開発を通じた差別化戦略により、個々の市場規模は小さいものの、世界シェアが極めて高い製品が多数あり、それを製造する企業は世界のサプライチェーンにおいて「なくてはならない」存在。これらの企業群の経営努力を称え、広く世に示すべく「グローバルニッチトップ企業100選」として表彰。

<経済産業省2020年版グローバルニッチトップ企業100選のページより抜粋>

<[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/mono/gnt100/index.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/gnt100/index.html)>



技術を翼に世界の空へ

 **Jamco**  
ALWAYS FLY TOGETHER



*Always Fly Together*